

●活用例 (1) 『おじさんのかさ』で「ダウトを探せ」

使用する書籍……1年『おじさんのかさ』作/佐野洋子

この作戦は、入門期に物語への興味をもたせ、話をきちんと聞こうとする態度を育てるのに有効です。

子どもたちの活動	アニマドールの支援
(1) 『おじさんのかさ』を読む。	・子ども一人一人に本を持たせ、アニマドールが音読する。
(2) 話の内容を確認する。	・あくまでの次の活動のための準備として、なるべく簡単に行う。 ・簡単な質問をしながら内容をみんなで確認する。
(3) 本を閉じて、アニマドールの話を聞く。読み違いに気がついたら、「ダウト」と言って、間違いを正す。	・変更箇所気づいたら、大きな声で「ダウト」と言って正しい表現を発表するように指示する。 ・あらかじめ読み替えるところを用意しておく。 (読み替えの例) 『おじさんは、とってもきれいなかさをもっていました。あおくてほそくてピカピカひかったステッキのようでした。……』 (反応の例) ・ダウト。「きれいな」ではなく「りっぱ」です。 ・ダウト。「あおくて」ではな「くろくて」です。

●活用例 (2) 『ないた赤おに』で「どうして……」

使用する書籍……3年『ないた赤おに』作/浜田広介

課題に対する答えを探しながら、読みを深め、物語のおもしろさを味わうことができます。

子どもたちの活動	アニマドールの支援
(1) 『ないた赤おに』を読む。	・読み聞かせをする。事前に読んでおくように指示し、当日は読まないで進める方法もある。アニマドールが音読する。
(2) 話の内容を確認する。	・あくまでの次の活動のための準備として、なるべく簡単に行う。 ・簡単な質問をしながら内容をみんなで確認する。
(3) 質問カードをもとに考え、アニマドールの指示に従って発表する。	・「どうして」という文言から始まる次のような質問カードを用意して、子どもたちに配る。 (質問カードの例) 「どうして青おには旅に出たのでしょうか。」 「どうして赤おには人間と仲良くしたかったのでしょうか。」 「どうして赤おにはないたのでしょうか。」 ・子どもたちには、指示があるまで黙ってカードを読み、考えるように指示する。 ・しばらく考える時間を与えたら、順番に発表させる。子どもの実態に応じて、多様な意見を交流させるようにするとよい。 ・子どもたち自身で答えを見つけられるように言葉掛けをする。結論を言わないように気をつける。 ・基本的には一人1枚で行う手法であるが、グループで行ってもよい。

●活用例 (3) 『白いサリーの天使ーマザー＝テレサ』で「これだれの言葉」

使用する書籍……5年『白いサリーの天使ーマザー＝テレサ』作 / 真鍋和子

登場人物の言葉をもとに、その登場人物の気持ちや状況を深く考えることができますようになります。

子どもたちの活動	アニマドールの支援
(1) 『白いサリーの天使ーマザー＝テレサ』を読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施2週間前には予告をして、読んでおくように指示しておく。</li> <li>・内容を思い出すために読み聞かせをする。全員が本を持って、自分の本を見ながら聞くようにする。</li> </ul>
(2) 話の内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あくまでの次の活動のための準備として、なるべく簡単に行う。</li> <li>・簡単な質問をしながら内容をみんなで確認する。</li> </ul>
(3) カードに書かれた言葉について、だれの言葉で、だれに対しての発言かについて考える。アニマドールの指示に従って発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に本文から会話文を書き取ったカードを用意する。できれば一人1枚用意したい。</li> <li>・カードを配布して考えさせ、順番に発表させる。</li> <li>・私語は慎み、答えがわかっても静かにしているように指示する。</li> </ul>

●活用例 (4) 『最後の一葉』で「これだれのこと」

使用する書籍……6年『最後の一葉』作 / オー＝ヘンリー 訳 / 田島準子

登場人物を理解して、話の主題を考えさせることができます。

子どもたちの活動	アニマドールの支援
(1) 『最後の一葉』を読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に読んでおくように指示し、当日は内容を確認するためにあらすじを話す程度にしてもよい。</li> </ul>
(2) 話の内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あくまでの次の活動のための準備として、なるべく簡単に行う。</li> <li>・簡単な質問をしながら内容をみんなで確認する。</li> </ul>
(3) カードに書かれた内容をもとに、登場人物のだれを説明しているのかを考える。アニマドールの指示に従って発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に登場人物を紹介する文章を書いたカードを用意しておく。</li> <li>・カードを配布して考えさせ、順番に発表させる。</li> <li>・一人1枚が難しいようであれば、グループで行うようにしてもよい。</li> <li>・本を見ないで考えさせる方法が基本であるが、子どもの実態に応じて、本を確認するように指示する。</li> </ul> <p>(カード例)</p> <p>わたしは、メイン州の生まれです。今はニューヨークの西のグリニッジ・ビレッジに住んでいます。</p>